



関西大学

関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科
第5回 東京シンポジウム



関西大学は、平成28(2016)年11月に
創立130周年を迎えます。

ビックデータ時代の 個人情報

—企業価値を高めるデータの利活用と
コンプライアンス—



2014年10月20日[月] 12:30~16:45 (12:00開場)

日経ホール 〒100-8066 東京都千代田区大手町1-3-7日経ビル3階
東京メトロ 千代田線「大手町駅」、東西線「竹橋駅」より徒歩約2分

申込方法: 関西大学社会安全学部ホームページからお申し込みください。 http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/

定員: 500名 参加費: 無料

総合司会: 秋山 まゆみ (関西大学社会安全学部助教)

12:30~12:35 開会挨拶 竹内 洋 (関西大学東京センター長)

▼基調講演及び問題提起 12:40~13:20

**個人情報の利活用と保護に関して、企業コンプライアンス、
防災、情報通信技術の各分野への問題提起**

堀部 政男 (特定個人情報保護委員会委員長・一橋大学名誉教授)

▼各分野からの提言 13:25~14:20

企業における個人情報の利用と保護

高野 一彦 (関西大学社会安全学部教授)

防災における個人情報の利用と保護

山崎 栄一 (関西大学社会安全学部准教授)

個人情報の利用における技術的課題

河野 和宏 (関西大学社会安全学部助教)

14:20~14:50 休憩

▼パネルディスカッション 14:50~16:10

企業価値を高める個人情報の利用と保護の枠組み

司会: 安部 誠治 (関西大学社会安全学部教授)

パネリスト: 堀部 政男

高野 一彦 / 山崎 栄一 / 河野 和宏

佐藤 慶浩 (日本ヒューレット・パッカート株式会社

個人情報保護対策室長 (チーフ・プライバシー・オフィサー))

吉田 浩一 (株式会社ローソン コンプライアンス・リスク統括室長 兼
情報セキュリティ統括室長)

16:10~16:15 閉会挨拶 小澤 守 (関西大学社会安全学部長、教授)

▼学生によるパネル研究発表 12:30~16:45

危機管理・防災・減災・事故防止・コンプライアンスなどを研究している社会安全学部の生による研究発表のパネル展示を行います。

ビックデータ時代の 個人情報

—企業価値を高めるデータの利活用と
コンプライアンス—

ICTの発展と普及に伴って、ビックデータ問題、インターネットでの個人情報の利活用とプライバシー保護の問題、クラウドと越境データ問題など、現行法では対応が難しい様々な課題が散見されるようになりました。EUやアメリカではこれらの課題に対応するための新たなルールが提案され、わが国でも国際的に遜色のない新たな情報法制の定立が検討されています。このような状況において、わが国の企業は個人情報の利活用とプライバシー保護の判断基準の根拠をどこに求め、どのような情報コンプライアンスの取組みを行えばよいのでしょうか。

本シンポジウムでは、このような問題意識から現在わが国で起きている「個人情報」に関する様々な問題を取り上げ、企業におけるデータの利活用とコンプライアンスに関する新たな判断基準や取組みを探究します。

講演者プロフィール

堀部 政男

Masao HORIBE



特定個人情報保護委員会委員長、一橋大学名誉教授。東京大学助手、一橋大学専任講師、助教授、教授、法学部長・法学研究科長等を経て、1997年3月一橋大学退官、1997年4月～2007年3月まで中央大学教授、プライバシー・個人情報保護関係では、①半世紀(50年)以上にわたり研究・実践、②国の個人情報保護関係法のすべてに関与、③東京都・神奈川県等の地方公共団体の個人情報保護条例制定・運用に関与、④民間部門の個人情報保護ガイドライン策定等に関与、⑤国際的に活動、『現代のプライバシー』(岩波書店、1980年)など著作多数。

安部 誠治

Seiji ABE



関西大学社会安全学部教授。1952年生まれ。大阪市立大学大学院経営学研究科後期博士課程中退。同大商学部助教授、関西大学商学部教授、関西大学副学長などを経て2010年4月から現職。専門は公益事業論、交通政策論、事故調査制度論。パロマ工業事故調査第三者委員会委員長、韓国鉄道技術研究院海外諮問委員、JR西日本安全推進有識者会議委員、運輸安全委員会不祥事問題検証チーム座長、福島原発に関する政府事故調査・検証委員会技術顧問、公益事業学会会長などを歴任。現在、運輸安全委員会業務改善有識者会議座長、消費者安全調査委員会臨時委員、事業用自動車事故調査委員会委員などを務める。

高野 一彦

Kazuhiko TAKANO



関西大学社会安全学部教授。中央大学大学院法学研究科博士課程修了、博士(法学)。日本経営倫理学会 理事、情報ネットワーク法学会 監事、SRM学会 理事、日本リスクマネジメント学会 評議員、経営倫理実践研究センター(BERC) 上席研究員、経営倫理士協会 理事、関西電力 経営監査委員会 社外委員などを兼務。主な研究領域は情報法学、企業法学、企業の社会的責任論。研究・教育の傍ら、数多くの上場企業の役員・幹部対象のコンプライアンス研修を行い、またアドバイザーを務めている。著書「情報法コンプライアンスと内部統制 第2版」など、情報法分野の著書・論文多数。

山崎 栄一

Eiichi YAMASAKI



関西大学社会安全学部准教授。1971年大阪市生まれ。専門は行政法・災害法制。神戸大学大学院法学研究科公法専攻博士後期課程を単位取得退学、西九州大学健康福祉学部、大分大学教育福祉科学部を経て現職。2011年に京都大学博士(情報学)を取得。災害における個人情報保護に関する政策法務の実践活動として、災害時要援護者の名簿作成や被災者台帳の導入をはかろうとする自治体への研修・アドバイスを行っている。被災者支援に関する委員を歴任。2014年に著書『自然災害と被災者支援』(日本評論社)にて日本公共政策学会著作賞を受賞。

河野 和宏

Kazuhiro KONO



関西大学社会安全学部助教。1981年愛媛県今治市生まれ。大阪大学大学院工学研究科博士後期課程修了後、2010年4月より現職。博士(工学)。専門は情報セキュリティ。モバイル端末に対する認証手法、2次元コードに対するセキュリティ機能の付与に関する研究も行っているが、主として個人情報保護を目的とした匿名化に関する理論・技術に関する研究を進めており、通信の匿名化、情報の匿名化に関する研究を多数報告。国際会議IASにてBest Paper Award(2009年)、IEEE関西支部学生研究奨励賞(2010年)、IPSS論文船井若手奨励賞(2011年)を受賞。